

科目区分	専門教育科目	科目名	教育史		科目コード	18Y410	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択			
			教育の基礎的理解に関する科目			免許・資格要件		幼稚園教諭必修、保育士選択必修			
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児教育にとどまらず、広く教育の歴史を学び、現代の子どもをめぐる問題について考える。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	教育・保育の歴史を理解する										
2.	教育・保育の思想を理解する										
3.	歴史を踏まえて、現代における保育や子どもの問題について考察する										
4.						○	△	◎	◎	○	△
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（100%）					
配布する資料を用いながら講義を行う。ディスカッションではグループでレポートを作成する											
準備学修						課題等への対応					
講義では予習課題として史料を配布することがあります。そして毎回の講義を必ず見直して下さい（毎週60分）。						配布した史料等については講義において解説を行います。課題等の提出についてはディスカッションで紹介・活用を行います					
授業計画											
第1回	教育史とはどのような科目か（教育原理・保育原理との関連を示す）										
第2回	近現代日本の教育制度 学歴主義の形成と展開										
第3回	「子どもの発見」から子ども観の変遷										
第4回	近現代日本における幼児教育 倉橋惣三と子ども										
第5回	戦争と子ども 学童集団疎開日記を読む										
第6回	「学問の自由」と「教育の自由」										
第7回	非行問題の歴史と現状 「つっぱり生徒と泣き虫先生」をみて考える										
第8回	「新自由主義」と教育										
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし				受講生へのメッセージ	授業計画は状況を見て変更する場合があります。できるだけ広い視野から、奥行きを以て、現状を考えられるように努めて下さい。					
参考書等	参考書：汐見稔幸編著『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房										